

現在のごみ減量化の取り組み

3Rを推進しています

ごみ減量の基本は「3R」です。ごみを出さない「Reduce」、繰り返し使う「Reuse」、再資源化する「Recycle」の頭文字から「3R」と呼ばれています。

近年では、ごみになるものを断る「Refuse」を加え、「4R」という取り組みもあります。

バイオマスプラスチックごみ袋

令和元年11月から南魚沼市指定ごみ袋は、原料の一部に米由来（非食用米）のバイオマス成分を10%含んだライスフィルムを使用しています。これは、マイクロプラスチック問題や温室効果ガスの排出削減をめざすとともに、みなさんの環境意識向上に向けた取り組みです。



おいしい食べきり運動

ごみの減量化の施策として、食べ残しを減らすように南魚沼市、魚沼市、湯沢町の2市1町全体で取り組んでいます。飲食店や宿泊施設、学校給食、各家庭で、「食べ物を大切にする」「もったいない」の気持ちで食べきりましょう。食品は計画的な購入を心がけ、食べきれぬ量だけ作りましょう。



生ごみ処理機購入費の助成

家庭で発生する生ごみを熱や微生物の力で分解させて処理をする「生ごみ処理機」の購入経費に助成金を交付しています。処理した生ごみは、ガーデニングや家庭菜園の肥料に活用して、ごみの減量化とリサイクルに取り組みましょう。

※家庭用生ごみ処理機購入費補助制度については、廃棄物対策課（☎782-0339）まで

先進施設の視察 パート2

武蔵野市クリーンセンター〔東京都武蔵野市〕

この施設は、市の中心部に位置し、武蔵野の雑木林をイメージした外観デザインで、景観の調和を図っています。イベントのできるオープンスペースや誰でも見学できる見学コースの整備など、開かれた施設運営と斬新なデザインにより注目を集め、平成29年にグッドデザイン賞を受賞しました。

ごみの焼却時に発生するエネルギーを施設周辺の庁舎や学校などの公共施設で活用して、エネルギーの地産地消を実現しています。また災害時には、ガス・コージェネレーション設備（都市ガスを燃料にして発電し、同時に発生する熱エネルギーを空調などに利用するシステム）を起動させて、エネルギー供給と焼却炉の稼働ができます。平常時だけでなく、災害時のエネルギー拠点としての機能を備えています。



容器包装ごみのリサイクルを支える人たちがいます

不燃ごみ処理施設（リサイクルセンター）に持ち込まれた容器包装ごみは、市内の社会福祉事業所で活動するみなさんが、毎日丁寧に手作業で分別しています。中には汚れたものや対象外のごみが混ざっていることがあり、約3分の1はリサイクルされずに焼却処分されてしまいます。

リサイクルが可能な「プラマーク」がついているか確認し、汚れているものは洗浄してよく乾かしてからリサイクルに出しましょう。



◆次回は、新ごみ処理施設整備に向けての今までの経緯などを紹介します。